

nijiiro

にじいろ

2021 AUTUMN

2021年10月1日発行(年2回発行)
第35号

河野名島病院 南川院長 ごあいさつ

河野粕屋病院 地域連携室荒木室長 紹介

第10回 日本精神科医学会学術大会

新型コロナウイルス クラスターの現場から

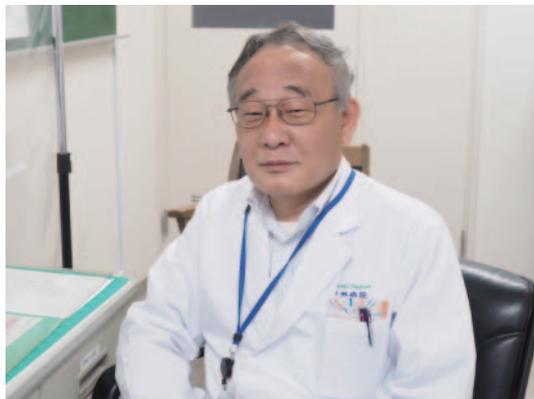
河野病院グループは創立75年を迎えました

法人本部 理事長室 金森啓示 新室長紹介

私たちは、初めて精神科を訪れた患者様の視点を決して
忘れることなく人権を尊重し「受診して良かった」と
思われる医療を目指します

医療法人済世会 河野病院グループ

『南川院長ごあいさつ』



医療法人済世会

河野名島病院

院長 南川 喜代晴

私は今年3月に院長に就任したばかりです。日が浅く未だ病院の全体像を掴んではいませんが、河野名島病院についての印象を述べます。

当法人の創設者である河野正前理事長の言葉である「困っている人がいたら救え、患者を断つてはいけない」という理念は現在も当院には脈々と受け継がれているように思います。難しい患者さんについても職員は色々な工夫をしながら対応しています。ただ、長く勤務している職員に話を聞くと、以前はレクリエーションなど活発に活動していたが、職員も患者さんも高齢化が進み以前のような活発さが少なくなっているとのことでした。

さて、現在の河野名島病院の体制が、地域が精神科病院に求めている役割を見据えたものになっているかについてはいささ

か疑問に思われます。急性期治療から社会復帰に向けた取り組みまでを切れ目なく実施していく「治療型生病院」の方向なのか、あるいは、長期療養を主体とした「療養型生病院」を目指すのか。現状ではどっちつかずの状態であるため、職員もどこに力を入れるべきなのか、どのような勉強をするべきなのか戸惑っているようにみえます。方向性が明確になれば、それに対応した病院作りに職員一丸となって邁進していくつもりです。個人的には、法人3病院のなかで唯一都市部にあるということを活かし、豊富な社会資源を活用して地域に住む当事者を支える医療ができればと考えています。

蛇足になりますが、気づいたことを一つ。職員が患者さんを指導する声は多く聞かれますが、笑い声が少ない。ご存じのように笑いというものは心身に好ましい影響があります。道具もなにも要らない誰でもできる精神療法です。笑い声が溢れる河野名島病院にできれば。

前理事長の理念を継承しつつ、理事長を中心として、患者さんを選ばれ、職員が働きがいのあつる河野名島病院をつくりあげていきたいと考えています。

河野粕屋病院 地域連携室 荒木裕美子 室長 紹介

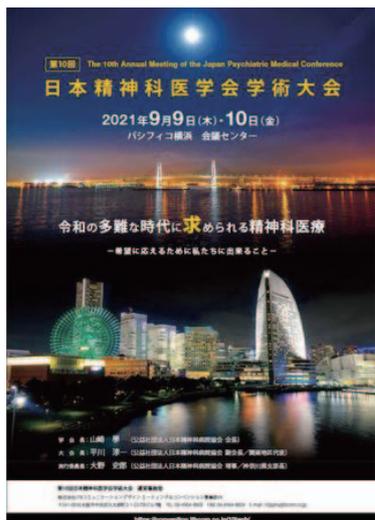


令和3年3月1日、河野粕屋病院に入職しました。地域医療連携室にて皆様のご指導の下、充実した日々を送っています。私はこれまで、他の精神科病院で病棟担当の精神保健福祉士として経験を積んだ後、地域連携室の責任者として、入退院調整、受診相談や他機関との連携を統括する部署にて受診調整、病床管理を主な業務として携わっていました。また、発達障害の専門外来の立ち上げに従事し、近年では発達障害の患者さんの個別支援に多く関わっていました。その経験からご縁を頂戴し、医療現場から教育現場へフィールドを移して学校ソーシャルワーカーとして小中学校の児童や生徒の支援や大学の学生課にて学生支援にも従事していました。しかし、新型コロナウイルスの猛威で学校は休校となり、学校から学生の姿が消えました。この経験は対人援助がリモートでは困難である事や対面の重要性を痛感し、無力感に苛まれる辛いものでした。同時に、ソーシャルワーカーとして働くことへの価値を再認識し、原点回帰しようと思う転機になりました。入職して感じた当院の印象は、建物こそ新しいけれど、良き懐かしさを感じられる暖かな雰囲気のある病院だということ、自然に囲まれた癒しの環境にあるということ。これらは、最適な治療環境が提供できる当院の特徴の一つだと感じています。このような当院の特徴こそを広く多く周知出来るように、柔軟性と迅速な対応力、コロナ禍で痛感した「対面の重要性」をもって、患者さん支援、関係機関との連携強化に努め、「選ばれる病院」を皆様とともに実現したいと思います。

第10回 日本精神科医学会学術大会

9月9日～10日 横浜市パシフィコ横浜 会議センターで開催された「第10回日本精神科医学会学術大会」に、法人代表として河野正美理事長、金森啓示理事長室室長、河野病院から江上統括看護部長、河野粕屋病院から鎌田看護部長が参加されました。会長講演「精神科医療の将来展望」、特別講演「今後精神保健医療福祉について」に引き続き、「コロナパンデミックにおける精神疾患への影響と自殺増加の要因」「精神科病院における新型コロナウイルス感染症対策を考える」など新型コロナウイルス関連のセミナーや「成人期ADHDの理解～ASDとの並存を中心に～」など現在もっとも課題と考えているセミナーを中心に参加し、感染症対策のブラッシュアップ、看護方針・看護計画に参考となるような意義のある機会でした。

※ADHD(多動性症候群)：年齢あるいは発達に不相応に、不注意、落ちつきのなさ、衝動性などの問題が、生活や学業に悪影響を及ぼしており、その状態が6ヶ月以上持続していることと定義されています。



河野病院グループは、患者さんとご家族が笑顔を取り戻せるように努力しています。

新型コロナウイルス クラスター発生の現場から ～ 河野粕屋病院

新しい知見を取り入れ工夫を凝らしながら新型コロナ対策を講じて参りましたが、残念ながらこの4月末に河野粕屋病院の5病棟あるなか一つの病棟で新型コロナウイルス感染、クラスターが確認されました。

粕屋保険事務所のご指導を頂き、入院患者さんの生命を第一に職員一丸となり最善の感染拡大防止対策に努めました。結果、他の病棟への感染拡大は防止することはできましたが、患者さん38名と職員9名が陽性と認められました。重症患者さんの転院調整に鋭意努力致しましたが、転院できた患者さんは2名のみで、極めて残念なことに転院叶わず当院内での治療の功もなく、80代の患者さん2名がお亡くなりになりました。

その後、院内の院型コロナ有症状の患者さん、職員も症状軽快になり、転院治療を行った2名の患者さんも症状が改善し当院に再入院となりました。5月半ばには殆どの方が快癒し、5月末には2週間の新規感染者の発生もないことから、保健所の御助言を頂き終息宣言を行いました。

あらためまして、お亡くなりになりましたお二人の患者さんのご冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、引き続き職員一丸となって安全安心な病院運営に邁進して参ります。

今後とも御理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



【新型コロナウイルス肺炎のクラスターを経験して】

医療法人済世会統括看護部長 江上 幸恵

河野病院の統括看護部長として、今回の新型コロナウイルスの蔓延状況は精神科にとって感染管理がとても困難であると危惧していたので、院内に持ち込まない、職員の感染管理を促し、早期発見が感染拡大防止につながると考えていました。

昨年春ごろに福岡精神科病院協会で開催された看護部長会において、各病院の感染予防対策の情報交換会などを通じて、目の粘膜を保護する目的でフェイスガードを装着して看護職員は患者さんと対応することを3施設で実施することを看護部長会で決定していました。

また、患者さんの発熱に関しては脱水・尿路感染・肺炎など患者さんの訴えから判断するのは困難をきたすので、抗原検査の導入をはかり、陰性であれば次の精査にいくということも統一していたがそのような中で発生した粕屋病院での抗原検査陽性の報告が入りました。病棟のゾーニングを話し合い、発熱者の病室だけをコホートするという考えもよぎったが、精神科病院でのクラスター経験談を参考にしたら、まだ発生していないが病棟全体をレッドゾーンとすることを申し合わせました。

職員のPCR検査結果で職員が9名陽性となり病棟は勤務できる人が少なくなり、夜勤できる人材しか残らず、そのため、他病棟からの応援要請をかけることにしたが、応援に行くにしても固定された人員、感染管理、PPE装着が確実にできる人材となると病棟管理者に依頼するしかありませんでした。

発生病棟の職員は陽性者が出るなど、不安も増大していたが、きちんとした感染予防を徹底すれば感染しないことを繰り返し説明しながら不安の軽減をはかり勤務していただきました。

その後も陽性者は増加していき最終的に患者38名、職員は9名クラスターとなったが発生病棟以外への感染はみられず、約一か月で終息することができました。

今後も医療従事者が感染源となることがないように努めていきたいと思っております。



【新型コロナウイルス感染症の猛威】

河野粕屋病院 看護部長 鎌田 淳子

河野粕屋病院では、去る令和3年4月21日院内において新型コロナウイルス感染症が発生し、瞬く間に多くの患者様、職員に感染拡大し大きなクラスターとなりました。

日本国内では重症化した患者の受け入れに医療が逼迫した状態となっており、精神疾患を持った患者というハードルも加え、簡単には転院などできる状況ではありませんでした。発症した患者様の健康観察、酸素投与、未感染の患者指導、限られた医療資源の中で患者様のケアを行うことが最優先でしたが、同時に院内で発生したクラスターを如何に感染拡大を最小限に抑えて感染管理をしていくのか、最大の課題も課せられました。

保健所や感染症専門医師の指導もいただき、絶対にほかの病棟に拡大させないようにまた職員自身も感染しないように、徹底した感染対策を行いました。

目に見えない敵(ウイルス)と戦う難しさは、全員が感染に対する認識を同じくして行動しなければ感染対策は成り立ちません。経験のない職員への指導(ガウンテクニックや感染ゾーンで使用したものの取り扱い方、感染ゾーンの認識など)は突然の実践状況となり、戸惑いながらも日々確実に職員から職員へも声かけしながら理解されていった状況でした。専門医からは2～3か月はかかるだろうが必ず終わりは来ますと言われていましたが、正直こんな状態が2～3か月も続いたら患者にとっても我々職員にとっても決して終わりを期待して頑張れる状態ではなく、何とか一日でも早い終息を迎えられることを願いながら新型コロナウイルス感染症と戦いました。

患者38名、職員9名の大きなクラスターでしたが、一丸となって戦った結果1ヶ月で終息を迎えることができました。その後も緊急事態宣言が何度も出る状況下に、私たち自身が「持ち込まない」「広げない」「持ち出さない」ことを理解し、標準予防策の徹底に努めております。



感染病棟で状況を見守る河野正美理事長



感染病棟立入時に感染防止対策を入念に行うスタッフ



【職員/入院患者さん新型コロナワクチン接種完了】

河野粕屋病院で新型コロナウイルス感染の陽性者が出たことを受け、更なる感染拡大の防止の為、職員のコロナワクチン接種予定を前倒し、4月の最終週から河野粕屋病院の職員を皮切りに病院内でのワクチン接種を開始しました。6月の第1週には河野病院/河野粕屋病院の職員の2回目接種



く

が完了、6月の第3週には河野名島病院の職員の2回目の接種も完了しました。また入院患者さんについても、3病院とも7月に接種を完了。その後入院された患者さんや新たに希望された患者さんについても、9月末に接種を完了しました。ワクチン接種による大きな混乱も特にありませんでした。接種完了の安心感がありますが、気を緩めることなく「持ち込まない」「広げない」「持ち出さない」を徹底していることには変わりありません。



河野病院グループは創立 75 年を迎えました



河野病院



河野粕屋病院



河野名島病院

河野病院は、昭和 21 年 6 月に福岡県糟屋郡篠栗町に診療所を開設し、その後河野病院グループとして今年令和 3 年 6 月で 75 周年を迎えました。
 病院理念である「初めて精神科を訪れた患者様の視点を決して忘れることなく人権を尊重し『受診して良かった』と思われる医療を目指します。」の下、医師・職員一同、地域に根差した医療に取り組んで来ました。
 75 年もの長きに渡り、河野病院グループを支えて頂いたすべての皆様に感謝を申し上げますと共に、今後もこの精神を忘れることなく、地域医療に取り組んで参ります。

< 略歴 >

- 昭和 21 年 6 月 糟屋郡篠栗町に診療所開設
- 昭和 26 年 7 月 医療法人済世会設立。河野粕屋病院 (現河野病院) 開設
- 昭和 32 年 3 月 福岡市東区に河野名島病院 開設
- 昭和 57 年 3 月 河野粕屋病院を糟屋郡宇美町に移転
河野病院を糟屋郡篠栗町 (旧河野粕屋病院) に開設
- 平成 6 年 4 月 河野病院 建て替え完成
- 平成 10 年 3 月 河野病院 歯科・口腔外科新設
- 4 月 河野病院 河野正美が院長に就任
- 6 月 河野病院 精神保健福祉法指定病院
- 平成 12 年 3 月 河野病院 精神障がい者グループホーム河桜荘開所
河野病院 介護保険河桜ケアプランサービス居宅介護支援事業
- 11 月 訪問看護ステーション「名島ヶ丘」(現パラソル) 新設
- 平成 15 年 11 月 河野病院 精神科デイケア開所
- 平成 17 年 5 月 河野病院 (財) 日本医療機能評価機構認定
河野正から河野正美へ理事長交代 (河野正 名誉理事長に就任)
- 8 月 河野名島病院 精神障がい者グループホーム白百合荘開所
- 4 月 河野名島病院 精神保健福祉法指定病院
- 平成 20 年 5 月 河野名島病院敷地内に NPO 法人にじいる福祉会
作業所にじいるベーカリー開設
- 平成 22 年 2 月 薬院河野クリニック メディカルサポート薬院開設
- 平成 24 年 9 月 河野粕屋病院 建て替え完成
- 平成 28 年 6 月 診療所開設 70 周年・医療法人済世会 65 周年
- 令和 3 年 6 月 診療所開設 75 周年・医療法人済世会 70 周年

法人本部 理事長室 金森啓示 新室長紹介



今年 6 月 16 日より、医療法人済世会法人本部の理事長室長を務めさせていただいております。早いもので 3 ヶ月が過ぎております。
 医療業界の経験はありませんが、医療法人済世会の基本理念に基づき、河野病院グループ内の河野病院グループ内の河野病院、河野名島病院、河野粕屋病院の各部門の皆様とコミュニケーションを取らせていただき、前職での経験を活かし、職場環境を少しでも改善できるように努めたいと思っております。その為、3 病院のチームワーク、連携を密に行うことで、患者様を笑顔でお迎えし、ご家族に安心して頂けるような職場をつくり、結果、グループ病院の病床率アップ、さらには収益アップにつながると考えております。環境改善に努め、職員の皆様と共に笑顔になるように頑張りたいと考えております。

～ 診療案内 ～

河野病院

受付時間

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00
 初めて受診される方は事前に電話予約の上、
 午前は 11:30、午後は 16:00 までに受付をお願いします。
 ※1 土曜日は午前のみ受診相談を受け付けております。
 ※2 午後のみ (電話でご確認ください。)

	月	火	水	木	金	土
精神科・神経精神科・心療内科	●	●	●	●	●	※1
内科				※2		
歯科・口腔外科	●		●	●	●	

河野名島病院

受付時間

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00
 外来は原則午前中のみです。
 新患の方は事前に電話予約をとってください。
 ※1 午前のみ

	月	火	水	木	金	土
精神科・心療内科・老年精神科	●	●	●	●	●	※1
内科	●	●		※1	●	※1
皮膚科					※1	

河野粕屋病院

受付時間

午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:00
 初めて受診される方は午前は 11:00、午後は 15:30 までに
 受付をお願いします。
 ※1 水曜日の午前中は、院長回診のため原則休診です。 ※2 午前のみ

	月	火	水	木	金	土
精神科・心療内科・老年精神科	●	●	※1	●	●	※2
内科	●	●	※1	●	●	

外来患者様、入院患者様のご家族を対象に送迎バスを運行しています。
 乗車を希望される方は、事前に氏名・日付・場所・時間を当院まで
 ご連絡下さい。 TEL (092) 932-7300

河野粕屋病院 送迎バス運行表 (平日・土曜日・休日)

	病院発	JR 宇美駅	下宇美口	深町バス停	東志免	志免体育館	JR 須恵中央駅	病院着
1 便	9:45	9:55	10:15	10:17			10:30	10:40
2 便	11:45	11:55	12:15	12:17	12:20	12:25	12:35	12:45
3 便	13:05	13:15	13:35	13:17	13:40	13:45	13:55	14:05
4 便	14:45	14:55	15:15	15:17			15:25	15:35
5 便	16:10	16:20	16:30	16:32			16:45	16:55

5 便は病院からの送りのみとなります。

医療法人済世会 グループ施設案内

河野病院

診療科：精神科・歯科
 平日 / 9:00 - 17:30 土曜日 / 9:00-12:30
 日祝日休診（歯科：土曜日休診）
 病床数：140 床
 ※デイケア「にじいろ」併設



〒811-2413
 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139
 TEL (092) 947-0611 (代) FAX (092) 947-8598
<https://www.kawano-hp.com/kawano/>
 e-mail : info@kawano-hp.com

河野粕屋病院

診療科：精神科
 平日 / 9:00 - 17:30 土曜日 / 9:00-12:30
 日祝日休診
 病床数：225 床



〒811-2129
 福岡県糟屋郡宇美町神武原 6 丁目 1-1
 TEL (092) 932-7300 (代) FAX (092) 933-3138
<https://www.kawano-hp.com/kasuya/>
 e-mail : kawanokasuya@kawano-hp.com

河野名島病院

診療科：精神科
 平日 / 9:00 - 17:30 土曜日 / 9:00-12:30
 日祝日休診
 病床数：179 床
 ※デイケア「どりーむ」併設



〒813-0043
 福岡市東区名島 4 丁目 28-53
 TEL (092) 681-5231 (代) FAX (092) 672-1525
<https://www.kawano-hp.com/najima/>
 e-mail : kawanonajima@kawano-hp.com

特定非営利活動法人にじいろ福祉会 小規模作業所 にじいろベーカリー

営業時間：14:30 - 17:00 定休日：土・日・祝日
 河野名島病院敷地内
 TEL/FAX (092) 672-2416
<http://2416-bakery.jugem.jp/>
 e-mail : nijjiro-bakery@kawano-hp.com

訪問看護ステーションパラソル

河野名島病院敷地内
 TEL (092) 661-7444

精神障害者グループホーム

白百合荘（男性）福岡市東区
 河桜荘（男性）糟屋郡篠栗町

カーナビで来院される方へ：検索結果が、病院の表側ではなく、裏手であったり隣接する建屋になる場合がありますので、ご注意ください。

職員募集中

募集職種：看護師, 准看護師, 看護助手 (パート), 調理師, 調理師補助 (パート)
 勤務地：ご相談の上
 詳細はホームページまたは以下にお問い合わせ下さい

医療法人済世会 本部 採用担当 金森・中尾
 〒811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139
 TEL : (092) 947-0611 HP : <https://www.kawano-hp.com>